

インナーシティーにおける 外国人旅行者・滞在者の諸相

【趣旨】

大阪市のインナーシティーにある日雇い労働者向け短期宿泊施設が、外国人旅行者・滞在者向けの宿泊施設として姿を変えつつある。かつて、日本各地から移住労働者として大都市・大阪に集まった人々が滞在した宿泊施設は、外国人労働者の流入とともに様々な文化的背景の人々が滞在する場所となった。そして今日では、外国人旅行者も訪れるようになっている。エクスカーションを通して、インナーシティーにおける外国人旅行者・滞在者の諸相を探ることとしたい。

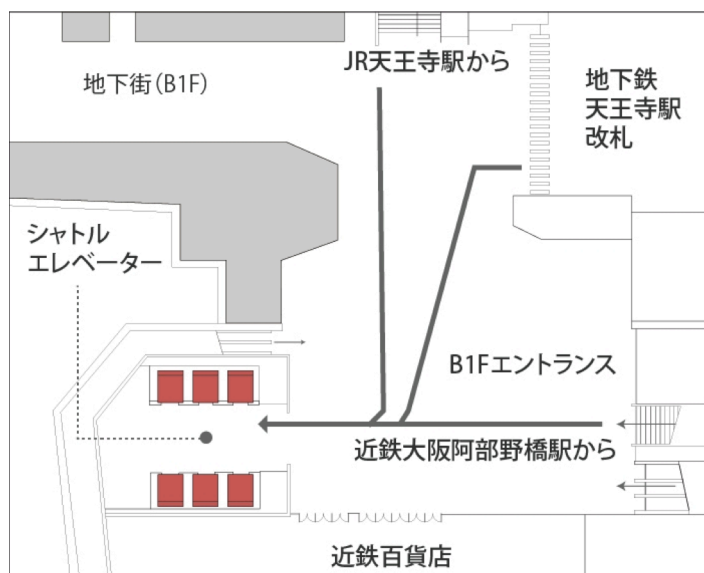
案内者：河原典史（立命館大学）

日時 2016年6月24日（金）

15:00 阪南大学あべのハルカスキャンパス 集合

大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目1-43 あべのハルカス23階

*JR・地下鉄天王寺駅から地下1階のオフィスエントランスよりシャトルエレベーターに乗りいただき、17階のオフィスロビーへ。17階でシャトルエレベーターから低層用オフィスエレベーターに乗り換えていただき、23階で下車して下さい。



エクスカーションの順路

天王寺 → 新世界 → ジャンジャン横丁 → 釜ヶ崎 → 飛田新地

参加無料。歩きやすく、暑くない服装でお越し下さい。

懇親会

飛田新地「百番」 <http://r.gnavi.co.jp/k069800/>

会費5,000円（院生4,000円）の予定

大正時代初期に遊廓として建築された建物を当時のまま今に伝える料理店です。

お申し込み（6月10日締切）

プレ企画エクスカーションのみ、もしくはプレ企画・懇親会とも参加かを明記の上、移民学会ホームページから大会参加フォームにてお知らせ下さい。 <http://imingakkai.jp/>

後援：マイグレーション研究会